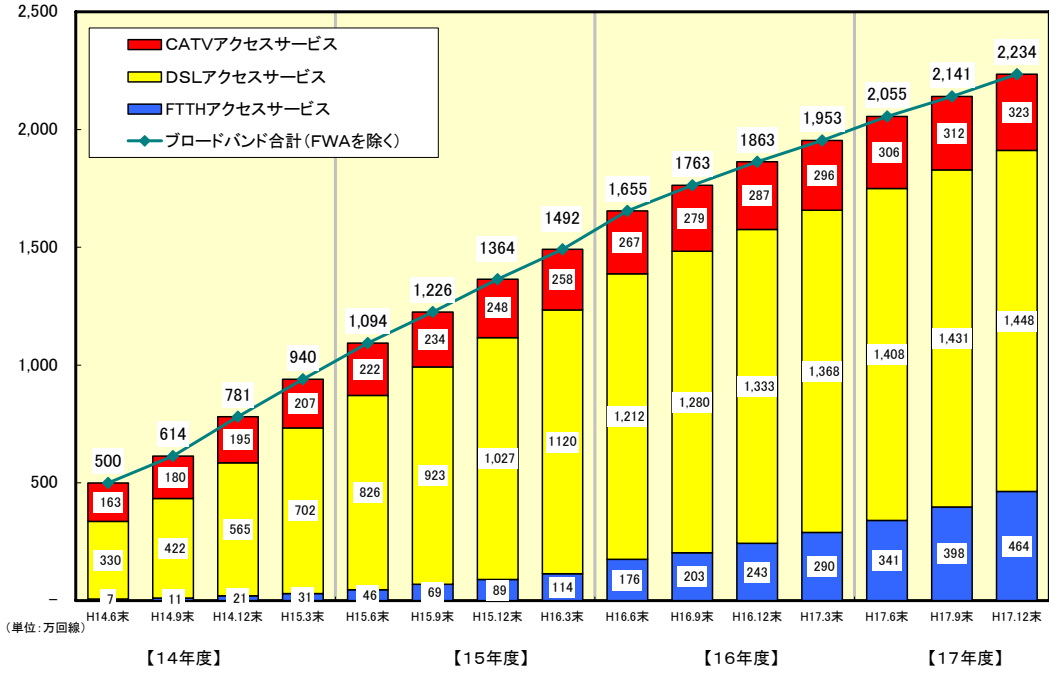


ブロードバンドサービス契約数の推移等（図表）

1. ブロードバンドサービス契約数の推移

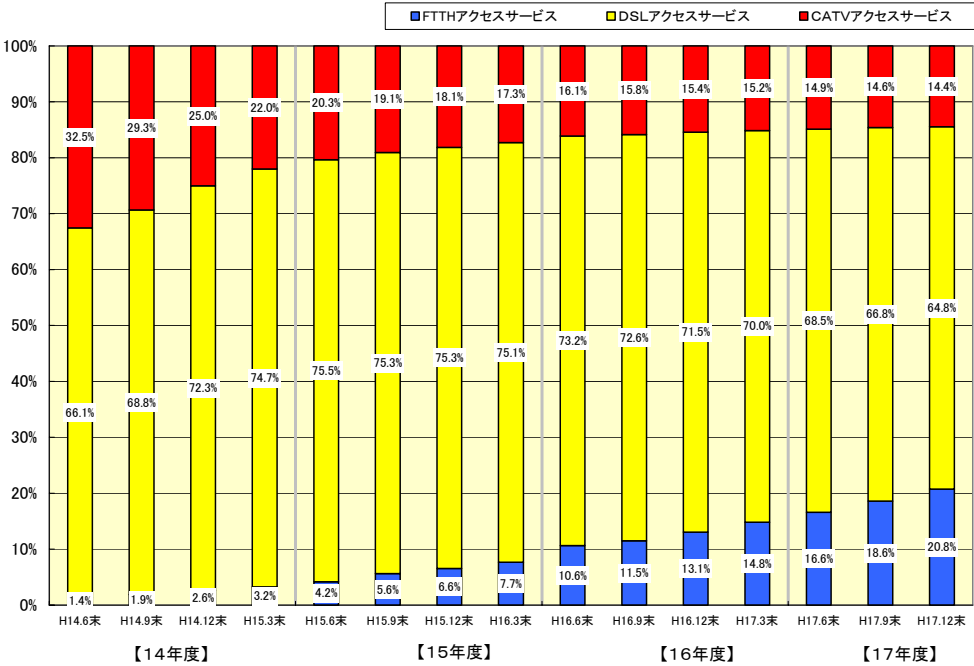
・ブロードバンド契約数の推移

平成17年12月末時点で2,237万契約となりました。平成17年9月末における合計数は2,143万契約でしたので、四半期に94万契約増加しました。



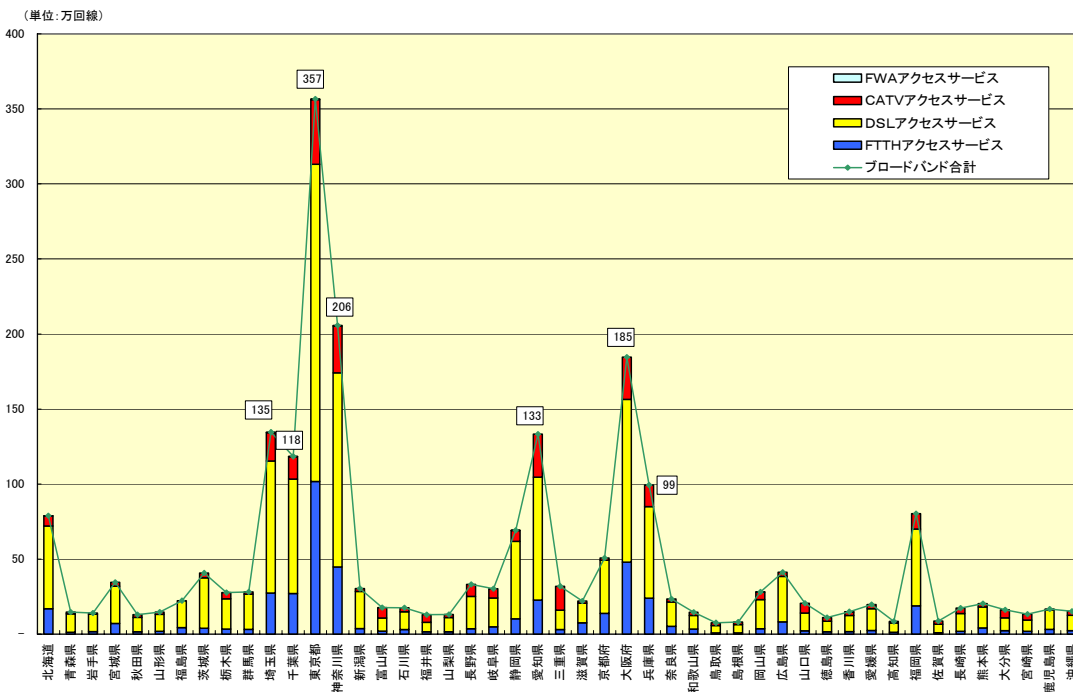
・契約者数のブロードバンドサービス別比率

FTTHの割合が増加を続けています。



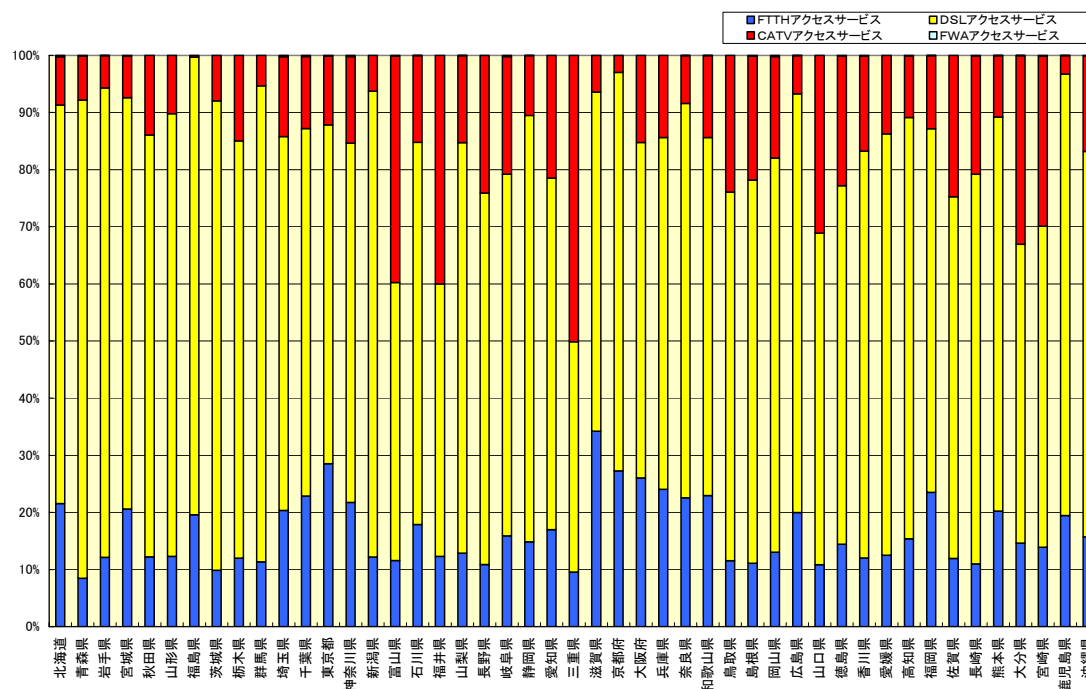
・都道府県別に見るブロードバンドサービスの契約数

都道府県別の契約数では、東京都の355万契約をはじめとして、100万契約を上回っているのは、前回到引き続き東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県、大阪府の6都府県になっています。



・都道府県別に見るブロードバンドのサービス別比率

ほとんどの都道府県においてはDSL中心の構成となっていますが、一方で、富山県、福井県、三重県などではCATVの割合が高くなっており、また、滋賀県ではFTTHの割合が3割を超えています。

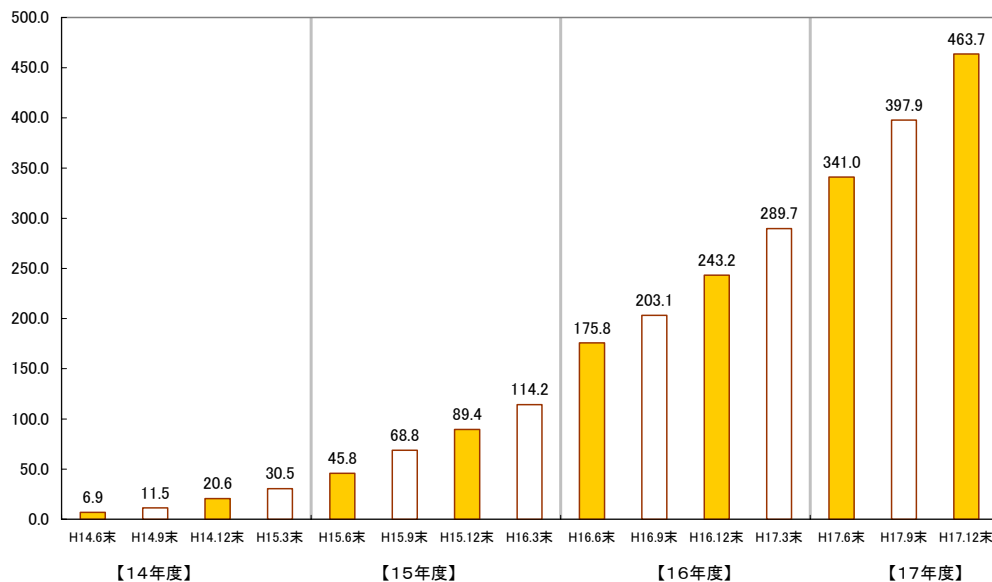


2. F T T Hアクセスサービスの契約数

・ F T T Hアクセスサービスの契約数の推移

平成17年12月末時点で464万契約となり、順調に契約数を伸ばしています。

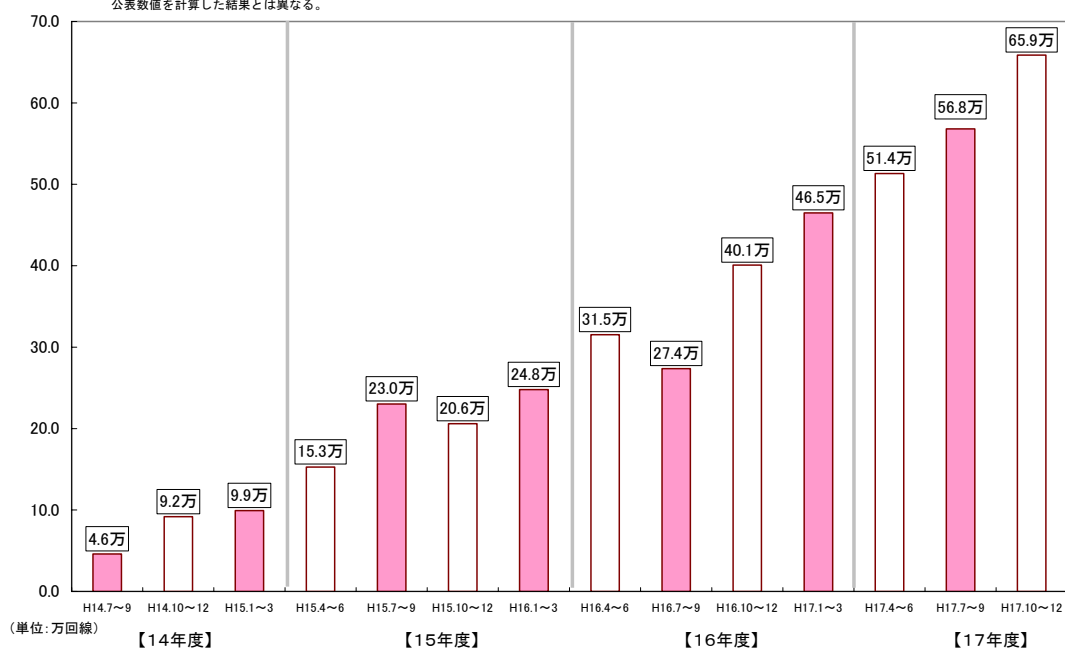
(単位:万回線)



・ F T T Hアクセスサービスの四半期純増数

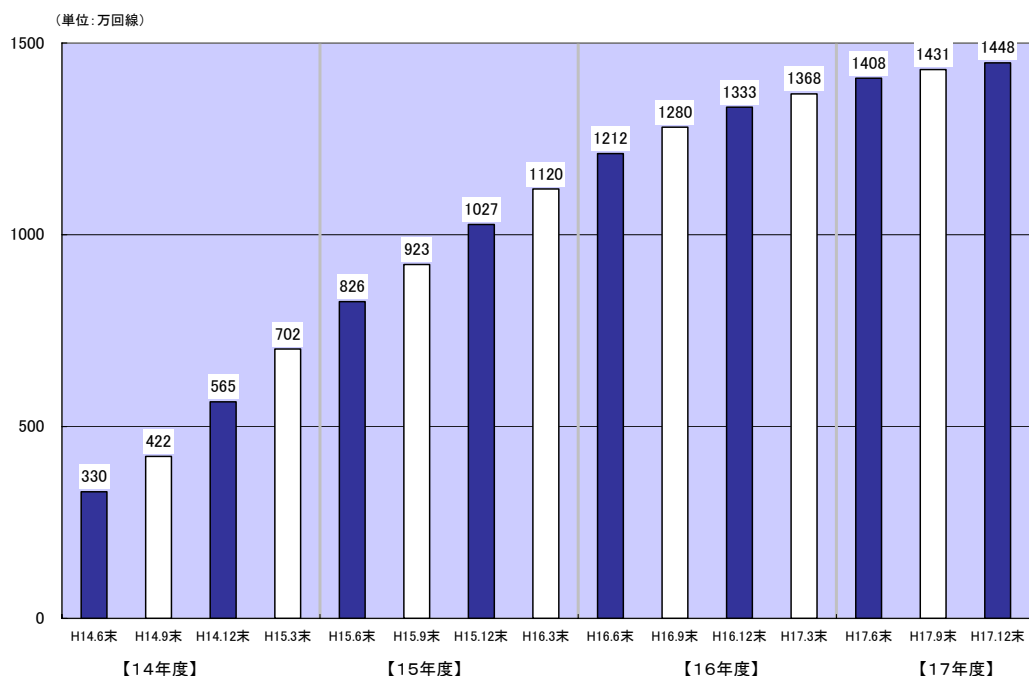
F T T Hの四半期の純増数は、平成16年7月～9月期から5期連続で増加を続けており、ブロードバンドサービス全体の純増数をF T T Hの純増数が牽引する形となりました。

(注) 平成16年4月～6月期の純増数については、平成16年4月以降集計方法の変更を行ったため、統計を元に計算したダミー値となっており、公表数値を計算した結果とは異なる。



3. DSLアクセスサービスの契約数

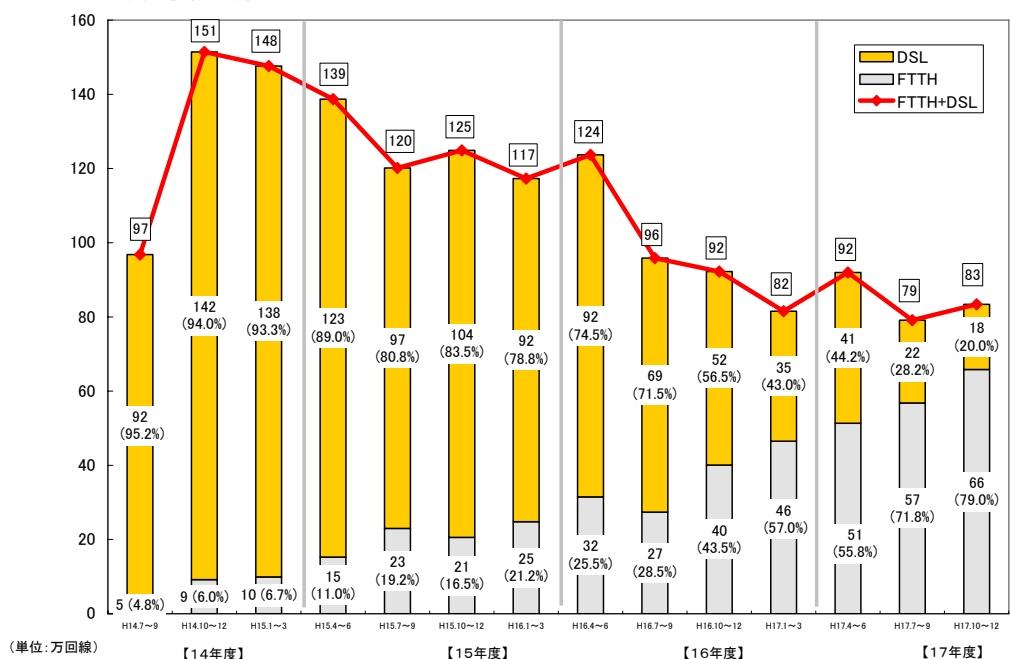
平成17年12月末時点で1,448万契約となり、契約数はなお漸増を続けています。



4. FTTHとDSLの純増数の対比

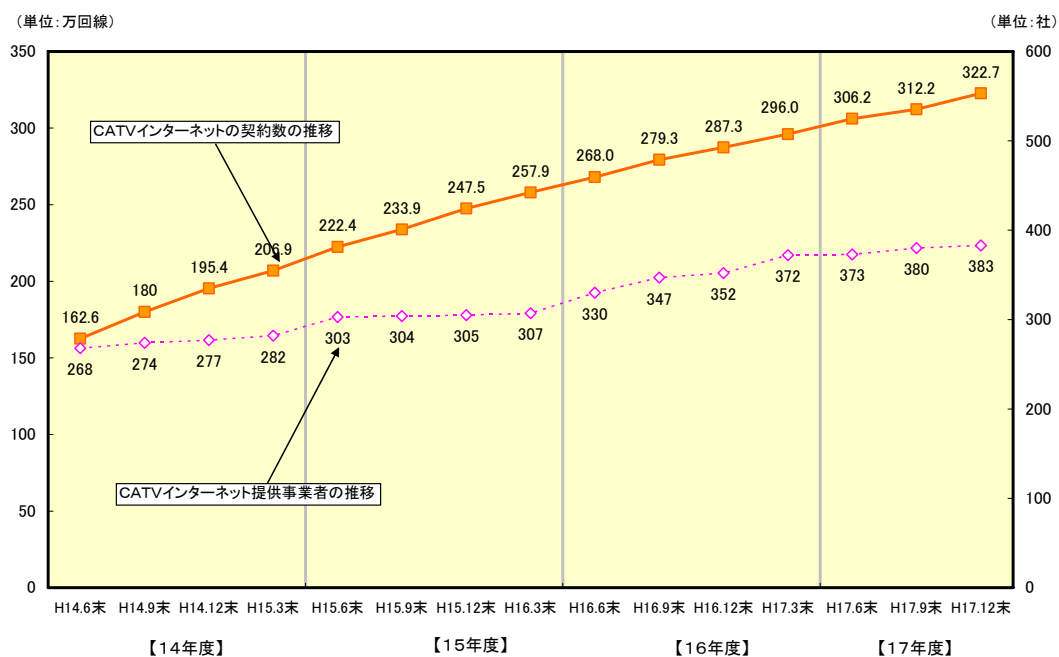
平成17年度第3四半期において、FTTHの前回からの純増数は66万契約、DSLの純増数は18万契約でした。FTTHの純増数は、平成16年度第4四半期からDSLの純増数を上回るようになっており、その傾向は続いています。

(注) 平成16年4月～6月期のFTTH純増数については、平成16年4月以降集計方法の変更を行ったため、統計を元に計算したダミー値となっており、公表数値を計算した結果とは異なる。



5. CATVアクセスサービスの契約数

平成17年12月末時点で323万契約となりました。契約数は堅調に伸びています。



6. FWAアクセスサービスの契約数

平成17年12月末時点で20,230契約となりました。契約数は減少を続けています。

